

タウンミーティング 平成30年10月9日（火）開催 <<水谷東公民館>>

地域別テーマ：空き家対策について

：水害対策について

①

Q 柳瀬川が増水したときに樋管から水が逆流しないように逆流防止弁がついている。操作を依頼されているが、雨が降っているときに樋管を操作しなければならず、大変危険。志木のエリアにあるものはバネで動いていて、自動で閉まるようになっている。富士見市も同様に自動にならないか。

また、志木市の蕎麦屋近くにある排水施設の管轄先がわからない。

A（建設部長）

雨天中の操作は非常に危険であると認識しています。大きな工事にならないようであれば、すぐにでも改善をしていきたいと思っています。また、排水施設の管轄先につきましては確認します。

【対応】

⇒その後の調査により、志木市と同様の樋管にするには、多額の費用がかかることが判明しました。すぐに樋管を交換することは困難ですが、住民の方が荒天の中操作することは大変危険なことから、対応を検討してまいります。また、志木市役所付近にある蕎麦屋の近くの排水施設については、富士見市の管轄であることを確認いたしました。

②

Q 台風21号（平成29年10月）の際に、別所雨水ポンプ場のポンプが作動せず、委託業者が手動で動かした。作動する水位を知りたい。また、水谷東第3排水機場（水谷東第3樋管）は、ボタンで操作して開閉しているが、停電していると手動で動かさなければならない。風の強い中、夜に外出することは非常に危険。全自動にしてもらいたい。

A（建設部長）

台風21号の際には、機械設備の不具合によりご迷惑をお掛けしまして、申し訳ございませんでした。市では保守点検をしていますが、今後も非常時に適切に動くよう整備に努めてまいります。

A（下水道課長）

水位に関しては、4.3mでポンプが自動で動く設定になっていますが、昨年の10月は機械設備の不具合により、委託業者が5.1mの時点で作動させました。市では、適切な保守点検に努めてまいります。非常時に何か気づいた情報

などがあれば、市民の皆さまからもぜひ情報をお寄せください。

A (建設部長)

20数か所ある排水機場の中、まだ数か所しか全自動化していません。相当なコストがかかることなので、今後の対応を検討してまいります。それまでは、地域の方のご協力をお願いいたします。

③

Q 水谷東小学校脇に用水路があり、雨が降ると浸水し、学校の土が削られていて、木なども斜めになってきているので危険。

また、柳瀬川調節池は予算がかかると思うが、志木市と共同でできないのか。

A (建設部長)

学校関係については、ご指摘いただいたことを教育委員会に報告し対応します。

【対応】

⇒ご指摘いただいた内容は、教育委員会でも把握しており、数年前から木の伐採を進めていましたが、今年度、用水路脇の大きな木につきましては、すべて伐採をしました。

A (市長)

調節池は埼玉県が管轄なので、費用を志木市や富士見市が負担することはありません。

④

Q 空家についての相談件数が倍に増えている要因は。

A (建設部長)

今までは、空家については安心安全課・建築指導課・環境課とそれぞれの窓口で対応していましたが、今年度より建築指導課に窓口を一本化したことにより、相談しやすくなったと考えています。

⑤

Q 空家について。戸建住宅だけでなく、集合住宅でも、今後4～5年後のうちに危険になりそうな住宅がある。市ではどう対応するのか。

A (市長)

その住宅が危険な状態であれば、所有者を調べて連絡を取り、所有者に対応してもらおうよう伝えます。

A (建設部長)

戸建住宅でも、共同住宅でも管理不全の建物は今後増えていくことが予想されます。まずは、これ以上空家を増やさないように地権者の皆様をお願いしていくことが重要と考えます。